

# 平成30年度「龍野商工会議所経営発達支援事業」評価報告書

## ●龍野商工会議所経営発達支援事業評価会議

日時 令和元年5月20日(月) 午前11時～12時

場所 龍野経済交流センター2階セミナー室B

- 議題
1. 開会
  2. 平成30年度経営発達支援事業報告
  3. 平成30年度経営発達支援事業評価
  4. その他

出席者 佐藤浩史氏(中小企業大学校関西校校長)

山脇智博氏(株式会社日本政策金融公庫姫路支店国民生活事業支店長兼国民生活事業統括)

小藤智代美氏(兵庫県西播磨県民局県民交流室長)

津吉一弥氏(公益財団法人ひょうご産業活性化センター経営推進部長)

小笠原欣吾氏(たつの市産業部長)

## I. 経営発達支援事業

1. 地域の経済動向調査に関すること		
実施計画		
四半期に一度当所が実施している地域景気動向調査や日本商工会議所LOBO調査等の結果を整理・分析し、小規模事業者へ情報提供する。 (1) 龍野地域景気動向調査 (2) 日本商工会議所LOBO(早期景気観測)調査 (3) 西播磨の経済指標		
項目	30年度目標	30年度実績
調査結果を情報提供する事業所数	400	409
実施内容		
(1) 当所会員企業(130社)へ四半期(5月・8月・11月・2月)に1度実施している景気動向調査結果をメール、FAXにて情報提供を行った。 配信日 5月25日(金)、8月28日(火)、11月29日(木)、2月28日(木) 配信先 メール385社・FAX24社		
(2) 月に1度管内企業12社へ業況・売上・採算などの状況及び業界として直面する問題や今後の見通しを調査するLOBO(日本商工会議所早期景気観測)調査と、兵庫県西播磨県民局が配信する西播磨地域における金融機関貸出残高、信用保証額、地場産業(醤油・皮革)出荷量等の15項目からなる経済指標結果をメール、FAXにて情報提供を行った。 配信日 4月27日(金)、5月25日(金)、6月26日(火)、7月24日(火)、 8月28日(火)、9月28日(金)、10月31日(水)、11月29日(木)、 12月26日(水)、1月30日(水)、2月28日(木)、3月29日(金) 配信先 メール385社・FAX24社		
評価		
・目標を達成しており評価できる。 ・調査結果を情報提供する事業所の目標値について、29年度実績地と比較して107件増加させたこと、30年度目標を達成したことは評価できる。今後は情報提供の量だけではなく、情報提供を受けた事業者の満足度等質の面での効果検証・見直しも期待したい。		

- ・情報提供については、定期的に一定の内容を提供しており、提供している事業者数も年々増加しており評価できる。  
提供する情報の内容について、当初より景気動向、業界としての問題、今後の見通し、経済指標、地場産業の集荷量等であるが、情報を提供するだけでなく、事業者にとって分かり易く活用しやすい内容になっているのか、実際に事業者が情報をどう活用しているのか等今後の展開について期待する。
- ・目標は概ね達成されており評価できる。  
ただ、昨年と比べ、具体的な支援内容の記載が少なくなっているように感じた。また、事業成果としての支援結果、売上増加や商談成約など把握されているものがあれば記載された方が取組の実績としては分かりやすいと思った。
- ・調査結果を情報提供する事業所が、目標値に達しており評価できる。  
情報提供する事業所数が、昨年度実績を107件増加しており評価できる。  
情報提供する事業所数の目標400件に対し、409件(102.2%)を達成した。

## 2. 経営状況分析に関すること

### 実施計画

巡回・窓口相談等により企業概要や顧客ニーズと市場の動向、商品・サービスの強みについて経営分析を行い、持続的発展に向けた経営改革を支援する。

- (1) 小規模事業者の経営分析を行う
- (2) 専門的な課題は専門家による分析を進め、経営戦略を提案する
- (3) 経営分析結果を文章化・数値化し、経営改革や事業計画作成の基礎的資料とする

項目	30年度目標	30年度実績
巡回件数	750	1,034
窓口及び巡回等によるピックアップ事業所数	65	109
経営カルテ書き込み事業所数	45	74
専門家による経営分析事業所数	5	22

### 実施内容

- (1) 延べ1,034社を巡回訪問し109社を経営分析支援候補としてピックアップ。74社に、事業の沿革と内容、課題、取巻く環境等についてヒアリングを行なった。ヒアリング内容を基にSWOT分析等により経営状況の分析を行った。
- (2) 専門家による経営分析
  - ① 相談会  
日 時 4月18日(水)・19日(木)10時～16時  
専門家 田坂経営労務事務所 代表・中小企業診断士 田坂和彦氏  
参加者 10社
  - ② 専門家派遣(1社)  
日 時 8月20日(月)14時～17時  
専門家 ADU(株)代表取締役・中小企業診断士 宇田名保美氏
  - ③ 専門家派遣(1社)  
日 時 8月27日(月)14時～17時  
専門家 (有)ザワン 技術統括 ノブ横地氏
  - ④ 専門家派遣(2社)  
日 時 9月21日(金)9時～16時  
専門家 元気カンパニー仕事研究所 代表・中小企業診断士 野崎幸雄氏
  - ⑤ 専門家派遣(2社)  
日 時 9月26日(水)9時～16時  
専門家 元気カンパニー仕事研究所 代表・中小企業診断士 野崎幸雄氏
  - ⑥ 専門家派遣(1社)  
日 時 9月28日(金)13時～16時

- 専門家 元気カンパニー仕事研究所 代表・中小企業診断士 野崎幸雄氏
- ⑦ 専門家派遣(1社)  
日 時 10月3日(水)13時～16時  
専門家 元気カンパニー仕事研究所 代表・中小企業診断士 野崎幸雄氏
- ⑧ 専門家派遣(1社)  
日 時 10月4日(木)13時～16時  
専門家 元気カンパニー仕事研究所 代表・中小企業診断士 野崎幸雄氏
- ⑨ 専門家派遣(1社)  
日 時 12月6日(木)10時～16時  
専門家 ㈱ビーアップ 取締役 石川伊津氏
- ⑩ 専門家派遣(1社)  
日 時 2月4日(月)13時30分～16時30分  
専門家 中小企業診断士 松田周司氏
- ⑪ 専門家派遣(1社)  
日 時 2月21日(木)14時30分～17時30分  
専門家 ADU(株)代表取締役・中小企業診断士 宇田名保美氏

## 評価

- ・いずれの目標も達成しており、評価できる。特に専門家による経営分析事業所数の達成率が顕著であり、評価したい。
- ・目標を設定した全ての項目について、目標値を大幅に上回る実績をあげたことは評価できる。また、質の面において、分析に当って30年度は「SWOT分析等」を行うなど高度化が図られている。
- ・目標値を大幅に上回る巡回件数、ピックアップ事業者数、さらには経営カルテ書き込み事業者数、専門家による経営分析事業者数と目標を大きく上回る実績をあげており、評価できる。
- ・目標値を設定した項目は全て目標値を上回る実績で評価できる。  
ただ、支援対象企業の業種や専門家による経営分析の内容例の記載があった方が実績として分かりやすいと思う。
- ・目標値を設定した項目は全て目標値を上回る実績で評価できる。特に巡回件数は目標値を大きく超える実績を上げており高く評価できる。  
巡回件数目標 75 件に対し、1,034 件(137.9%)を達成した。なお、専門家による経営分析の事業所数は、目標 5 件に対し 22 件(440%)を達成したことは高く評価できる。

### 3. 事業計画策定支援に関すること

#### 実施計画

- 経営分析結果に基づき、小規模事業者の事業計画策定を支援する。
- (1)巡回等によりピックアップした小規模事業者の経営計画作成を支援する
  - (2)経営分析を行なった事業者の事業計画作成支援を行う
  - (3)経営計画作成支援セミナーを実施する

項目	30年度目標	30年度実績
窓口及び巡回等によるピックアップ事業所数	75	106
経営指導員等による事業計画策定支援事業所数	30	67
経営計画作成支援セミナー受講者数	10	5

#### 実施内容

- (1)事業所ピックアップ 106社
- (2)経営分析結果に基づき、経営資源、事業環境等を考慮して優先順位も加味した事業計画の策定支援を67社に行なった。
- (3)経営計画策定セミナー(全4回)開催

日 時 10月24日(水)・30日(火)、11月2日(金)・9日(金)  
 いずれも18時～20時  
 受講者 5名

### 評 価

- ・3項目の目標のうち、2項目は達成しているものの、1項目は未達であった。未達はセミナー受講者であるが、未達の原因を追究し、改善が図られることを期待したい。
- ・目標値を設定した「窓口及び巡回等によるピックアップ事業所数」と「経営指導員等による事業計画策定支援事業所数」については29年度実績値と比較して大幅に増加させたこと、30年度目標を達成したことは評価できる。一方、「経営計画作成支援セミナー受講者数」についてはテーマ、開催時期等について、事業者のニーズに沿ったものなのか検証し、実効性のある取り組みを期待したい。
- ・事業計画策定した事業者数が目標の2倍以上の実績があり大いに評価できる。経営計画策定セミナーの受講者が目標の半分となっている。同業種、異業種などをコラボさせて事業計画を策定させるようなものも検討するなど、セミナーの内容を見直してはどうか。
- ・目標値を設定した項目はほぼ達成されており評価できる。この実施内容も、支援対象企業の業種や事業計画策定の支援例の記載があった方が実績として分かりやすいと思う。また、支援成果として売上増や利益アップを把握しているなら公表した方が良いと思う。
- ・目標値を設定した項目は全て目標値を上回る実績で評価できる。経営指導員による事業計画策定支援事業所数の目標30件に対し、67件(223.3%)を達成したことは評価できる。

#### 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

##### 実施計画

事業計画策定事業者を対象に、2ヶ月に1回程度巡回相談等を実施し、事業計画の進捗や問題点の把握・整理を行うことで、計画とのギャップを明確にし、PDCAサイクルを回しながら目標達成へ導く。

- (1) 事業計画を作成した事業所の巡回・窓口相談を実施する
- (2) 毎月の経営指導員ミーティングで情報の共有を図る
- (3) 「兵庫県よろず支援拠点」や「中小機構近畿本部」と連携し、専門家を事業所へ派遣する

項 目	30年度目標	30年度実績
事業計画実施フォローアップ事業所数	30	35
専門家派遣による販売チャネル構築支援事業所数	5	10

##### 実施内容

- (1) 35社に対して、事業計画の進捗状況確認、実施に当たっての課題確認と解決に向けた支援、新たに発生した課題の抽出と解決に向けた支援を実施した。さらに、その内10社については、専門家より販路開拓に向けた具体的な方策をアドバイスした。
- (2) 新たに発生した課題や問題解決に向け、経営指導員4名が毎月1回ミーティングを実施した。
  - ・4月23日(月) ・5月25日(金) ・6月14日(木) ・7月24日(火) ・8月24日(金)
  - ・9月26日(水) ・10月25日(木) ・11月26日(月) ・12月17日(月) ・1月25日(金)
  - ・2月22日(金) ・3月26日(火)
- (3) ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金申請支援  
3件 11,688千円
- (4) 小規模事業者持続化補助金申請支援  
14件 6,759千円

### 評 価

- ・目標を達成しており、評価できる。
- ・事業者へのモニタリングとフォローの意義は大きい。経営指導員等の労力を要する支援策である中、目

標値達成かつ、29 年度実績値を超える実績であり、評価できる。加えて小規模事業者持続化補助金申請支援件数も 14 件とのことであり、29 年度実績と比較しても大きな伸びを見せ、大いに評価したい。

- ・経営発達支援計画では、「実施に当たり金融支援が必要な際には、小規模事業者経営発達支援融資制度を積極的に活用し対応する」とあるが、実績をみると計画実施フォローアップ事業所数が 35 あったのに対し、補助金申請支援は2種類合わせて17件となっている。補助を受けない事業所は、金融支援を必要としないレベルなのか、これで積極的な活用と考えればよいのか、この実績書からは判断が難しい。
- ・目標値を設定した項目は全て目標値を上回る実績で評価できる。  
この実施内容も、支援例の記載があった方が実績として分かりやすいと思う。
- ・目標値を設定した項目は全て目標値を上回る実績で評価できる。  
計画策定に留まることなくフォローアップが着実にこなされており、成果を上げている。

## 5. 需要動向調査に関すること

### 実施計画

日経テレコン21の活用やマーケティング会社と連携し、売れ筋動向等を収集・整理・分析し小規模事業者に提供する。

- (1) POS情報等、商品やサービスの需要動向などに関する情報を提供する
- (2) ネットモニター調査により、販売商品や提供サービスのニーズ等需要動向を調査・提供する
- (3) マーケティング会社と連携し、販売商品やサービスの市場調査を行なう
- (4) 皮革製品展示即売会の出展業者へのアンケートを実施する

項目	30年度目標	30年度実績
日経テレコン21による調査数	30	33
ネットモニターによる調査数	10	12
マーケティング会社調査数	2	1

### 実施内容

- (1) 日経テレコン21を利用し、事業所が販売しようとする商品やサービスの需要動向や業界情報等を33社へ提供した。
- (2) 市民50名にインターネットを使い、4月は「最寄品の買い物」、5月は「皮革製品」、6月は「インターネットの利用」、7月は「飲食店での喫煙」、8月は「夏の生活動向」、9月「専門店」、10月「食育」、11月「地域イベント」、12月「ギフト」、1月「冬の生活・消費動向」、2月「身だしなみ」、3月「休日・余暇時間の過ごし方」をテーマにアンケート調査を実施し、当所会報・ホームページで会員事業所へ周知した。
- (3) 6月2日(土)～3日(日)「たつのレザー展示即売会」への出展者よりアンケート調査票を回収した。

### 評価

- ・3項目の目標のうち、2項目は達成している点について評価できる。未達の項目については、マーケティング会社調査数であるが、原因を追究し、改善が図られることを期待したい。
- ・目標値を設定した項目は達成または、あと一步で達成の状況であり、概ね良好と評価する。
- ・需要動向調査は目標数をほぼ実施されており、評価できる。  
これらの調査資料が事業者側でどう活用されたのか、売り上げにどう変化をもたらしたのか等は、どこに反映されているのか、経営指導員等の相談・指導等の中でフィードバックされるのか。  
経営発達支援計画では、「特に、・・・皮革二次加工製品に関して集中的な支援を行う」とあるが、今年度実績では、市民 50 名のインターネット調査で 5 月に皮革製品をとりあげたことと、「たつのレザー展示即売会」で出展者アンケートを回収したことが記載されている。これ以外に集中的に行った支援があるのだろうか。
- ・目標値を設定した項目はほぼ目標値を上回る実績で評価できる。
- ・目標値を設定した項目は、目標値を上回るほか、ほぼ同じ実績となっており評価できる。日経テレコン21を利用し、事業者が販売しようとする商品やサービスの需要動向や業界情報を 33 事業所へ提供したことは評価できる。

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

### 実施計画

IT活用に向け支援し情報発信力を強化すると共に、展示会等への出展効果を高める来場者への対応スキル習得支援や近隣商工会議所との連携出展など、直接売上アップに繋がる取組みを実施する。

- (1) 皮革製品展示即売会を開催する
- (2) 東京インターナショナルギフトショー(9月)へ兵庫県下18商工会議所が連携し出展する
- (3) 兵庫県商工会議所連合会主催の「販路開拓市・商談会」へ参加する
- (4) 展示会、即売会等へ出展時に、レイアウトやPOP作成法などのセミナーや個別支援を実施する
- (5) 東京インターナショナルギフトショー(2月)へ出展する
- (6) SNS活用やブログ・HPに掲載する文章力向上セミナー、写真撮影講座等を開催する
- (7) インターネットモール『西播磨特産館』や『播磨 Navi』などで情報発信を図る

項目	30年度目標	30年度実績
皮革製品即売会出品事業所数	30	23
皮革製品即売会来場者数	4,100	2,500
東京インターナショナルギフトショー(9月開催分)出展者数	4	3
東京インターナショナルギフトショー(9月開催分)出展者商談数	25	40
「販路開拓市」参加事業所数	5	3
「販路開拓市」参加事業所商談数	15	10
東京インターナショナルギフトショー(2月開催分)出展者数	10	4
東京インターナショナルギフトショー(2月開催分)出展者商談数	60	47
情報発信力支援企業数	25	54

### 実施内容

- (1) ①皮革製品展示即売会「たつのレザー展示即売会」開催
  - 日時 6月2日(土)～3日(日)10時～16時
  - 会場 龍野経済交流センター1階ギャラリー霞城
  - 出展企業 23社 出展商品 革素材、鞆、靴、財布、ポーチ
  - 来場者数 2,500名(2日間)
- ②JFW JAPAN CREATION 2019 出展
  - 日時 11月21日(水)10時～18時30分  
11月22日(木)10時～18時
  - 会場 東京国際フォーラム(東京都千代田区丸の内3丁目5-1)
  - 出展者数 7社 出展品 革素材、製品サンプル
  - 来場者数 17,220名(2日間) 商談件数 76件
- (2) ひょうごブランド全国発信事業「第86回東京インターナショナルギフトショー」出展
  - 日時 9月4日(火)～7日(金)
  - 会場 東京ビッグサイト(東京都江東区有明)
  - 出展企業 3社(全87社) 出展商品 6商品(全115商品)
  - 来場者数 1,566人(ブース内) 商談件数 40件
- (3) 第87回東京インターナショナルギフトショー「feel NIPPON 春 2019」出展
  - 日時 2月12日(火)～15日(金)
  - 会場 東京ビッグサイト(東京都江東区有明)
  - 出展企業 4社 商談件数 47件
  - 来場者数 24,385名(ギフトショー全体324,289名)
- (4) 情報発信力支援
  - 自社商品や製品、サービスのPRや販路拡大を支援するインターネットモール『西播磨特産館』、『播磨Navi』により情報発信した。
  - ① 西播磨特産館
    - パソコンとインターネット環境があれば出店でき、品目の登録や入れ替えは出店者自身が随時行

え、SNSの利用もできる。

出店者数 30社 品目数 226品目

② 播磨Navi

西・中播磨4商工会議所(龍野・相生・赤穂・姫路)が運営し、各地域の特産品や観光情報等を幅広くPRするサイト。

出店者数 36社 品目数 72品目

※12社が①と②に重複。

### 評価

- ・目標を下回る項目が見受けられる。未達の項目については原因を追究し、改善が図られることを期待したい。
- ・目標値未達の項目もあるが、重要なのは、事業者にとって切実な課題である販路開拓面での支援ではないか。その観点では、「東京インターナショナルギフトショー9月開催分」での商談数と情報発信企業数が29年度実績値を大幅に超えており、評価できる。
- ・経営発達支援計画では、展示会等への出展支援があげられているが、東京インターナショナルギフトショーの出展者数は、2月が4社、9月が3社となっており、目標数に到達していないのが気になる。出展すれば、1社あたり平均12～13件の商談数があるようなので、来場者が非常に多い東京インターナショナルギフトショーの出展は積極的に進めるべきと考える。  
インターネット販売は、利用者の多いところへの出店を推進するべきではないかと考える。少し値が高くてもよいものは売れるのが、ネット販売でも傾向とされている。インターネットを活用するなら、西播磨や中播磨の近隣住民への情報発信にこだわる必要はないのではないかと考える。
- ・目標値を下回っているものは、未達成の理由を注釈として入れるなど説明を加えた方が良かったと思った。商談会等に出展したものについて、商談結果(成約、商談継続、成約見込みなし等)について何か記載があれば成果として分かりやすいと思う。
- ・目標値に達していない項目もあるが、関係する事業者の情報発信力や商談を通じた自信・プライド・意欲は着実に高まってきている。

## II. 地域活性化事業

### 実施計画

学習型・体験型観光「ニューツーリズム」や「街の賑わい創出支援事業」を通じて、地域の観光、商業、サービス業の維持・拡大を図る。

- (1) 関係機関と情報連絡会を開催する
- (2) たつの市主催のイベントに参加し交流人口の増加を図る
- (3) 龍野地域産業・文化周遊ツアーを実施する
- (4) 街ゼミやグルメラリーなど街の賑わい創出事業を行う

項目	30年度目標	30年度実績
市内観光入込者数(千人)	2,090	
市内商業販売高(億円)	1,552	

### 実施内容

- (1) 地域連絡会の開催  
関係機関と地域活性化事業について情報連絡会を実施した。  
・4月3日(火) ・5月8日(火) ・6月7日(木) ・7月3日(火) ・8月7日(火) ・9月8日(火)  
・10月2日(火) ・11月6日(火) ・2月5日(火) ・3月5日(火)
- (2) 街の賑わい創出事業  
① 龍野お店のゼミナールきっず  
たつの市内の小売商業・サービス業の店主やスタッフを講師として、小学生と親を対象に夏休みの思い出づくりとなる講座を開催した。

期 間 8月1日(水)～24日(金)

講座数 たつの市内16店舗16教室

②たつのグルッとスタンプラリー

たつの市内外のお店を一般市民が周遊するスタンプラリーを開催した。商品の購入またはサービスの利用でスタンプを押印し、3つ集めれば抽選会に参加。

期 間 10月7日(日)～11月3日(土)

参加店 50店舗

「抽選会」

日 時 11月3日(土)10時～15時

会 場 たつの市民まつり特設会場(たつの市役所分庁舎前)

来場者 285名

③龍野お店のゼミナール

たつの市内の小売商業・サービス業の店主やスタッフを講師として、市民に役立つ情報や技術を教える講座を開催した。

期 間 2月1日(金)～28日(木)

講座数 たつの市内20店舗33教室

(3)たつの市民まつりへ参加

日 時 11月3日(土) 10時～15時30分

場 所 たつの市役所及び中川原公園周辺

①第6回ジュニアエコノミーカレッジ in たつの販売実践

たつの市内小学5・6年生が模擬株式会社を設立し、地場産品を使った商品を企画し販売した。

参加者 たつの市内小学5・6年生11チーム61名

(揖西東1、小宅4、香島1、神岡2、龍野1、御津2)

②福っくら豆腐ドーナツとコーヒー、石ころアートの販売

龍野商工会議所女性会が女性会会員事業所の商品である豆腐ドーナツとコーヒー、石ころアートを販売した。

(4)産業観光推進事業

龍野地域の多様な産業や歴史的な文化財を巡る視察会を実施した。

第1回 9月27日(木) 参加者 24名

見学先 醸し菜、末廣醤油(株)、恩徳寺、片しば竹の宿 梅玉

第2回 10月23日(火) 参加者 27名

見学先 (株)新宮運送、UCC上島珈琲(株)兵庫工場、如来寺、片しば竹の宿 梅玉

第3回 11月19日(月) 参加者 27名

見学先 パナソニックデバイスSUNX竜野(株)、(有)ティンビイジャパン、  
中臣印達神社、宝積禅寺、片しば竹の宿 梅玉

## 評 価

- ・地域のイベントに積極的に関与している姿勢と取組は評価できる。今後も、交流人口増加、外国人観光客の取り込み、地域の人口減少の歯止めにつながる企画を期待したい。
- ・経営発達支援計画では、①地域特産品の開発や、②産業観光、体験型観光 ③グルメラリー 等への支援があがっている。実績をみると、それらに該当するものが見当たらず、また、観光客がいつでも立ち寄れる場所が設置されているのではなく、時期限定の特設会場で行っているのが気になる。特に体験型観光や地域特産品は、観光客がそこに立ち寄れば体験できる、または購入できるように常設の場の確保が必要ではないか。
- ・昨年度のように入込者数で速報値でもあれば分かりやすい。  
実績数値が出るのに時間がかかるのであれば、参考として、実績数値が出ているものについて、前々期の数値等を記載するもの良いかもしれない。
- ・地域の様々なイベントの参加を通じ、地域の素晴らしさをさらに広めていくために、関係機関と連携した企画・取組も期待したい。



### Ⅲ. 支援力向上に向けた取組

<b>1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること</b>
実施計画
(1)金融機関、行政機関と情報交換会を実施し、新たな需要の開拓を進める基盤と龍野地域において幅広い事業所支援を可能とする体制を構築する。 (2)近隣商工会議所(龍野・姫路・相生・赤穂・豊岡)と支援ノウハウ向上のための情報交換会を年間3回開催し支援力向上を図る。
実施内容
(1)連絡会・情報交換会 ①商工行政連絡会の開催 たつの市産業部との連絡会を実施。 ・5月14日(月) ・12月4日(火) ②(株)日本政策金融公庫姫路支店との情報交換会 支店長、課長補佐と情報交換を実施 ・11月19日(月) (2)近隣商工会議所との研修会・情報交換会 日 時 6月8日(金)15時～17時 会 場 赤穂商工会議所
評 価
・他の支援機関との情報交換をなされていることが実績により確認できた。 ・金融機関や行政機関との連携は、情報交換会、意見交換会等と通じて計れており、評価に値する。 ・金融機関、行政期間、近隣商工会議所との情報共有、連携体制が整っており評価できる。 ・金融機関、行政機関等と情報交換会を実施し、支援体制の構築に努めている。今後も関係機関と研修や情報交換を行われない。 ・幅広い情報交換ができており、評価する。
<b>2. 経営指導員等の資質向上等に関すること</b>
実施計画
(1)各機関が主催する経営指導員等研修会に参加し資質向上を図る。 (2)WEB研修等を受講し小規模事業者のニーズに対応した知識を習得する。
実施内容
(1)経営指導員等研修会への参加 ①経営診断基礎(商業) 期 間 6月4日(月)～6月28日(木) 会 場 中小企業大学校関西校 参加者 1名 ①経営指導員等研修会(労務) 日 時 6月12日(火)10時～16時 会 場 神戸商工会議所 参加者 1名 ②経営指導員等研修会(産業労働施策等) 日 時 6月19日(火)10時～16時 会 場 姫路商工会議所 参加者 2名 ③経営指導員等研修会(補助金申請) 日 時 6月26日(火)10時～16時

会 場 神戸商工会議所

参加者 1名

④経営指導員全国研修会(データに基づく経営支援)

日 時 7月5日(木)13時～6日(金)15時45分

会 場 ホテルメルパルク名古屋

参加者 1名

⑤経営指導員等研修会(産業労働施策等)

日 時 7月12日(木)10時～16時

会 場 神戸商工会議所

参加者 1名

⑥経営指導員等研修会(創業支援)

日 時 7月24日(火)10時～16時

会 場 神戸商工会議所

参加者 1名

⑦経営指導員等研修会(PR力強化)

日 時 8月21日(火)10時～16時

会 場 神戸商工会議所

参加者 1名

(2)経営改善・事業再生研修eラーニング

随時受講

効果測定 経営指導員4名、一般職員2名が受講(平成30年9月4日(火)～7日(金))

(3)所内勉強会

毎月一度実施

(4)商圏分析研修

① 研修会 I

日 時 7月13日(金)16時30分～18時30分

内 容 (1)商圏分析ソフトMieNaの操作方法、および、活用方法について

(株)日本統計センター 営業推進部部长 吉田浩一郎氏

(2)商圏分析を活用した経営分析・診断事例、および、その結果を活用した経営計画作成について

(有)起業経営研究所 代表取締役 小坂英雄氏

受講者 経営指導員4名、経営支援員2名、役員・一般職員6名 計12名

② 研修会 II

日 時 11月15日(木)17時～19時

内 容 商圏分析ソフトMieNaを活用した戦略立案

(有)エーケンテック 代表取締役 江川雅典氏

受講者 経営指導員4名、一般職員1名

③ 課題演習

期 間 7月17日(火)～31日(火)

テーマ 下記のいずれかを選択して提案書を提出

課題1. 当所1階喫茶コーナーに入居するに適した業種・業態

課題2. 当所が開校している『シニアそろばん教室』のPR方法

対 象 全職員

(5)経営計画作成支援研修

日 時 9月25日(火)、11月7日(水) 各17時～21時

内 容 (1)経営計画作成の意義、必要性について

(2)経営計画作成方法、立て方

(株)エニシードコンサルティング 代表取締役 荻須清司氏

受講者 経営指導員4名、一般職員1名

評 価

- さらなる能力の向上に向け、様々な研修に参加していることが実績により確認できた。
- 経営指導員等の資質・能力向上に向け、積極的に研修会等に参加している取組や姿勢に加え、地域経済の発展、振興に寄与している点も大いに評価したい。
- 指導員の支援スキルによって不公平があってはならず、幅広い分野において最新の知識、情報の習得を期待する。各種研修会に積極的に参加するとともに、会議所内部での勉強会を毎月実施するなどしており評価できる。
- 経営指導員のレベルアップに向けて、様々な研修会に参加させておられ評価できる。
- 様々な機会を捉えて研修会等に参加させている取組・姿勢は大いに評価できる。

#### IV. 全体

##### 評 価

- 限られたマンパワーの中で、事業者に対する指導員等の汗をかいたサポートの姿がうかがえる。各般の取組について、PDCA サイクルを回しながら、より効果的な取組を実施されることを期待したい。
- 全体的に感じたことであるが、支援した事業所数や調査実施数など実施したことの目標数は達成されているものの、それらを実施した成果として、事業所が新製品の開発や販路の拡大等により収益が拡大したのか、観光入込者数や販売額が増加したのか、本来の目的が達成されているのかが見えてこない。事業所のアンケート等による意見があれば、事業効果も見えるのだろうが、提示された資料からは把握しきれなかった。